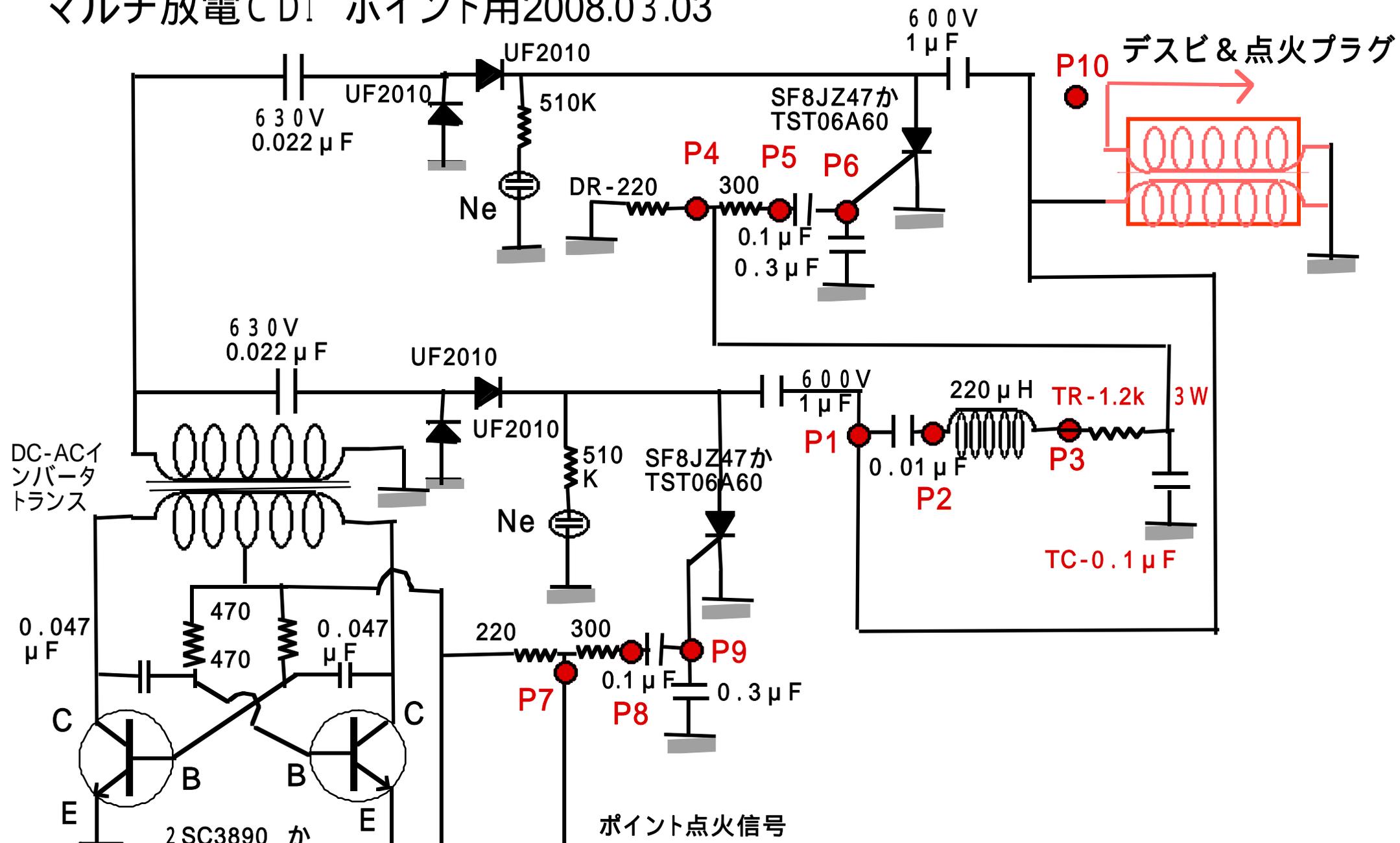


# マルチ放電C DI ポイント用2008.03.03



TCの値で0.1µFが小さいと時間差が大きくなる。実車では0.1µFで試験、P3後の3W抵抗は高压P1の電圧により調整、無信号450Vで1.2k ぐらい、高い場合は大きくする。大き過ぎるとマルチにならない、小さ過ぎると全体のトリガ動作が変になる。放電間隔はTCとTRの値で調整  
 DR-220 は電圧降下用、これが無いとP4点が高回転時に300V以上になる。SCRはSF8JZ47を手元にあったTST06A60に変更してます。

